

ソブリン AIの現状

79%がソブリンAIを
価値ある戦略的優先事項
と認識しており、特に
国家レベル(66%)と
組織レベル(47%)に
おいて顕著です。



ソブリンAIに関心が寄せ
られる主な推進要因は、
データ管理(72%)と
国家安全保障(69%)
です。

82%の組織がカスタマイズ
されたAIソリューションを構
築しており(米国では90%)、
57%がAI機能と知的財産の
管理に重点を置いています。



オープンソースソフトウェア
(81%)がソブリンAIの
主導的な役割を担い、
オープンスタード(65%)
とオープンデータ(65%)が
続いています。

59%の回答者が、主に
オープンソース
プロジェクトへ貢献する
ことにより協力しています。



ソブリンAIにおけるオープン
ソースの最大の利点は
透明性や可監査性(69%)
であり、特に欧州(80%)で
顕著です。



93%の回答者が、安全で
文化的で整合性のある
ソブリンAIシステムを構築
するにはグローバルコラ
レーションが不可欠である
と認識しています。



グローバルコラ
レーションは、
基盤モデル(59%)や
データリソース(59%)
にとっても効果的です。



オープンソースAI導入に
おける主な課題は、
データ品質(44%)と
技術的専門知識の不足
(35%)です。



グローバルな
AIコラボレーションの壁として、
リソースの制約(35%)、
IPに関する懸念(34%)、
地政学的緊張
(世界全体で28%、
アジア太平洋では36%)
が挙げられています。



43%がソブリンAI開発に
おいてオープンソース
コミュニティ主導のガバ
ナンスを支持しています。



ソブリンAIの未来を形成する
上で主要なステークホルダー
は、国家政府(66%)と
オープンソース財団(60%)
です。

